



一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2024年3月号

2023年度 第4回一次電池部会を開催

2024年2月14日(水)、木村部会長(マクセル株式会社)を議長に2023年度第4回一次電池部会を機械振興会館での対面会議で開催した。開会に際して、木村部会長よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールに則り、部会進行する旨の宣言がなされた。清水専務理事の挨拶、続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。



1. 部会長挨拶

1か月後の3月15日に、BAJの理事会が開催されます。本日の審議事項最後の項目にも2024年度予算の内容がございます。各委員会におかれましては、2023年度報告活動まとめ、ならびに2024年度活動予定という形で報告頂くと思っておりますので、よろしくお願い致します。また、2024年1月1日には能登半島沖地震ということで、被災された方には心からお見舞い申し上げますと共に、元旦から支援物資のために尽力頂いた各社の皆様ご対応ありがとうございました。引き続き、2024年度も柔軟な対応をお願い致します。

2. 専務理事挨拶



2023年度最終の活動まとめと2024年度事業計画の検討をお願い致します。元日早々、能登

半島地震が起き、経済産業省から救援物資の要請を受け、1月5日に被災地に第1回目の物資を届けることが出来ました。2月1日現在で、176,500個の乾電池と500個のランタンを届け、緊急時には一次電池が大変役に立つということを変更して実感しました。ご協力を頂いた正会員会社へは、改めてお礼を申し上げたいと思います。また、現地の1日も早い復興をお祈り致します。

もう一点は、2024年1月10日、新年賀詞交換会、優良従業員表彰式を開催し、出席者は257名とほぼ例年並みの参加者となりました。会員企業の皆様のご協力有難うございました。

3. 各委員会報告

各委員会より、2023年度事業報告、2024年度事業計画が報告された。

1) 各専門委員会の活動報告

①ボタン電池回収推進委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2023年度 活動総括

- ・実績：協力店数は微増、回収依頼件数は昨年並みで推移。
- ・サンプリング調査：空気亜鉛電池の水銀含有率の低下を確認。酸化銀電池とアルカリボタン電池の調査は2月に実施する。
- ・法改正の動向：水俣条約のCOP5で有水銀ボタン電池の廃止期限が2025年末に決定。国内法改正での有水銀ボタン電池の廃止期限は、COP5通りとなる見込み。

* 2024年度 事業計画

- ・協力店微増、回収量微減を計画。
- ・サンプリング調査を継続。
- ・法改正対応：COP5結果の国内法への落とし込みをフォロー。

②器具委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

- * 委員会開催実績について
- * BAJ規格「SBA S 1601 携帯電灯」改正の進捗について

* 視察研修会について

* 2023年度の活動報告

* 2024年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

③資材委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 委員会開催実績について

* 主要4材料（亜鉛・リチウム・ニッケル・コバルト）の需給・価格動向の確認結果について

* コンプライアンス（下請法他）順守に関する意見交換結果について

* 2024年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

④消費者委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 委員会開催実績について

* 支援物資の支援要請結果について

* 視察研修会報告について

* 2023年度の活動報告

* 2024年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

⑤P L委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 委員会開催実績について

* 「一次電池安全確保のための表示に関するガイドライン」改正の進捗について

* NITE速報/国民生活センター 事故情報の共有結果について

* 2023年度の活動報告

* 2024年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

⑥技術委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

1. JIS規格原案作成

・JIS改正原案の作成の活動がなく報告内容なし。

2. IEC/TC35（一次電池）国際規格原案

作成

- ・IEC 60086-1 次版 CD 文書の各国コメント集を臨時会議で審議。
- ・IEC 60086-2 次版 CD 文書の各国コメント集を臨時会議で審議。
- ・IEC 60086-4 TR 開発は、OSD (Online Standards Development) を使用して進める。
- ・IEC 60086-5 Explosion 判定基準を日本から提案予定。
- ・MT17 ブリュッセル会議の決定事項を確認し、86-4CDV への反映。

3. コイン形リチウム二次分科会

- ・FDIS 回付、IS 発行が2ヶ月遅れる見込み。FDIS : 4月、IS : 7月
- ・内部抵抗が3Ωを超えるコイン形リチウムイオン電池がGB31241-2022の対象かどうかについて中国当局に確認し、対象であるとの見解を得た。
- ・IEC 62133-2 ED2 CD に関し、“内部抵抗が3Ωを超え、ユーザーが交換可能でないコイン形リチウム二次電池を対象外とする提案”をIECに提出した。

* その他事項

2024年度実施する誤飲事故アンケートは、パッケージ、ピクトグラムの効果が分かる期間を設定する。

- * 2024年度委員会体制 委員長 FDK、副委員長マクセル 4開催 (Web2回、対面2回)

⑦ 国際環境規制総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 地域別環境規制アップデート

- ・欧州：欧州委員会、携帯型電池とLMT電池の取り外し/交換可能性に関する技術的助言。
- ・北米：メイン州及びミネソタ州のPFASの「現在避けられない用途」意見募集。

・中南米：チリ、5kg以上のバッテリーの収集及びリサイクルの目標に関する政令。

・アジア：特記事項なし。

* 2023年度 活動総括

・「世界の電池 環境規制の状況(第12版)」の追補電子版を4月発行。

・国際会議：ICBR (国際電池リサイクル会議 9月) 2名参加。

* 2024年度 事業計画

・冊子「世界の電池環境規制の動向(第13版)」を6月に発行。

・国際会議はICBRに2名派遣を計画。

⑧ 広報総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2023年度 事業報告

・キャンペーン/PR活動：各電池系の重点テーマ訴求を推進

・イベント活動：「でんちフェスタ」を12/2バンドー神戸青少年科学館にて開催

・情報発信：広報総合委員会開催(年12回開催の内、対面開催1回)

* 2024年度 事業計画

・前年度の活動を継続しながらも、効果検証を行い、より効果的な手法、媒体等を検討しより良い啓発活動を計画している。

4. 2024年度予算

一次電池部会およびボタン電池回収推進委員会の2024年度予算について資料を基に報告があり、承認された。

5. 事務局報告

1) 統計データ報告

2023年度1Q~3Q(4月~12月累計)の一次電池およびリチウム二次コインの販売数量・販売金額の実績動向について報告。

2) 次回開催日程

2024年6月19日(水) 13:30~
東京 機械振興会館

以上

2023年度 第2回二次電池部会を開催

2024年2月15日（木）、一般社団法人電池工業会は2023年度第2回二次電池部会を機械振興会館での対面会議で開催した。冒頭でBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守することを確認したのち、鈴木部会長（古河電池株式会社）、清水専務理事より挨拶があった。続いて各委員の代表より、これまでの活動報告を行った。



1. 部会長挨拶



電池工業会への日頃のご協力ありがとうございます。世界情勢として平和でなくなつたと感じており、また日本でも能登震災が年明けに発生し、企業のBCP（ビジネスコンティニュープラン）が非常に重要になってきていると感じている。また企業で頻発している不正問題に鑑みコンプライアンスへの十分な配慮が必要とも感じている。電池としては、環境問題、欧州電池規則、CO2削減への課題など、企業と工業会が協力して取り組んで日本の

電池業界が世界に負けまいとしていきたいと考えていますので、よろしく願います。

2. 専務理事挨拶

一次電池部会を参照願います。

3. 各委員会 2023年度活動報告及び2024年度活動計画

各委員長より2023年度活動実績および2024年度活動計画の報告がされた。

◆ 広報総合委員会

一次電池部会を参照願います。

◆ 国際環境規制総合委員会

一次電池部会を参照願います。

◆ 資材委員会

・共有金型管理状況について資料に基づき報告。今年度更新計画3型、少し計画から遅れているが年度内に検収完了に向けフォローしている。

・2024 年度事業計画；2024 年度更新が必要な金型の進捗フォロー、2025 年度更新が必要な金型確認、金型貸与先の経営状況（リスク）確認 等を実施する。

◆自動車用鉛電池リサイクル委員会

・2023年度 SBRAリサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。排出事業者登録件数はトータル 12,085 件で、純増は 36 件。地域別、業種別で見た構成比については大きな変化はない。

・2023 年度回収量については前年比 98% で若干下回る状況、補修電池の販売が少し低調であることと、鉛相場の高値推移の影響を受けて減少しているとみている。

・中華系事業者の廃鉛蓄電池の買い回りがあり、違法状態での解体等が行われている懸念があるとの情報を得ている。

・下請法対応として委託業者との委託費の適正性を担保する業務委託契約の見直しを実施中。

・2023 年度委託先監査については 7 社実施完了で、2022 年度と合わせ全 14 社への監査を実施。

・2024 年度活動計画；基本的には 2023 年度活動を継続する

◆二次電池技術委員会

・各活動テーマの進捗状況については資料に基づき報告された（主な内容は以下の進捗）。

・IEC 関連；60095（重要テーマで報告）、62902（ケミカル表示）CD2 回覧が終了しコメントを提出した。

・JIS 関連；JIS F 8101（船用鉛蓄電池）24 年度改正に向け改正審議継続中。

・SBA 関連；詳細は資料によるが 23 年度完了が 7 件、24 年度継続が 8 件となる。

・重要テーマ・トピックスとして、以下 4 点が報告された。

①IEC60095-8（自動車補機用鉛蓄電池）；2023 年 9 月 CD が発行されており、自動車技術会と打ち合わせの上、コメントを作成し提出済み。日本側要望として 7 件を提案している。

②欧州新電池規則に関する件；技術委員会、環境委員会で打ち合わせを実施し工業会としての対応方針を決定

（注；内容は環境委員会報告内容と重複するため後述）

③CO₂ 排出量の件；EU 電池規則対応でのカーボンフットプリントの件があり、算出方法を見直す必要性について議論し、環境委員会との合同会議の中で議題に挙げる。

④二次電池用語の整合化を図る IEC JWG 設置の件；TC21 内に二次電池用語の整合化を行う JWG が設置された。

◆P L 委員会

・爆発事故防止のための啓発活動として、自技サ分科会が中心となって「自動車用バッテリーの知識」の改正、2023 年度発行に向け作業中。

・硫化水素発生事故防止の啓発活動；対策の一環として、RV 協会へ 6 月訪問し協働での啓発活動についての打ち合わせを実施、協同で啓発リーフレットを作成することとし、作成作業中（2024 年継続）。

・「安全確保のための表示ガイドライン」改正が 2024 年度に必要かどうかの検討を進めていたが、関係委員会との調整結果 2026 年度改正とした。ただし、緊急を要する部分については 2024 年度追補版を発行する。

・始動用鉛電池爆発件数の 2023 年度は上期だけで 24 件、2022 年度同期比で 6 件増であり、バス/トラック/タクシーは 4 件増、乗用車は 2 件増となっており、継続して監視していく。爆発の推定原因については従来同様液切れによるものが多い(79%)ため、メンテナンスに

ついでに啓発活動を継続する。

・2024 年度活動計画；基本的には 2023 年度活動を継続する

◆産電リサイクル委員会

・234 号広域認定変更申請については、23 年変更分について環境省本省での審査終了、認定証を 10 月受理済み。

・エナジーウィズ社を含めた共同広域新規申請対応中であり、関東地方事務所審査通過（9 月）、環境省本省に申請資料を 10 月に提出した。

・課題となっている、松下電池海外製及びエナジーウィズ社海外製の鉛蓄電池への共同広域回収対象拡大を環境省に審査依頼中。

・2024 年度事業計画；主な計画は①広域 234 号維持のため必要に応じて変更申請実施、②新規広域認定取得を完了する、③新規広域取得に伴う変更点をリーフレット、工業会 HP に反映させるための改正実施、④アルカリ電池処理事業者の開拓。

◆環境委員会

・欧州電池規則関連情報；2023 年 7 月公布、8 月発効され、2024 年 2 月から適用が開始される。BAJ 対応として技術委員会との打ち合わせを実施し以下のようにした。『個社対応を基本としているが、委任法・実施法などが制定された場合、両委員会で情報共有を行い、内容に応じて B A J での対応を協議、

パブリックコメント等については両委員会にて提出することを確認』。特に委員会として注視していく項目として、①カーボンフットプリント（第 7 条）、②リサイクル原材料の含有率（第 8 条）、③電池のラベル表示およびマーキング（第 13 条）、④ C E マーキング貼り付けに関する規定と条件（第 20 条）、⑤製造業者の義務（第 38 条）、⑥廃電池の予防および管理に関する情報（第 74 条）。

・2024 年度活動計画；基本的に 2023 年度活動の継続となるが、特に欧州電池規則を中心とした環境情報の収集と対応が中心になると考えている。

4. 審議事項

・2024 年度二次電池部会事業計画および予算案について；事務局から全体を取りまとめ、特に費用を中心に報告し質疑なく、承認された。

5. 事務局報告・連絡、その他

・次回開催予定（確定）

2024 年 10 月 17 日（木） 13：30～
web 会議（必要な場合、対面会議に変更）

・次々回開催予定（予定）

2025 年 2 月 6 日（木） 13：30～
東京 機械振興会館（仮決め）

以上

第 110 回 二次電池第 2 部会を開催

2024 年 2 月 9 日（金）、浅利部会長（パナソニックエナジー株式会社）を議長に第 110 回二次電池第 2 部会を機械振興会館での対面会議で開催した。開会に際して、事務局より BAJ 競争法コンプライアンス・ルールを遵守することが確認されたのち、浅利部会長ならびに清水専務理事の挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会の代表者より、これまでの活動報告を行った。



1. 部会長挨拶



電池に関わる規制が増えてきており、12月から実施された中国黒鉛輸出規制、ならびにPFAS規制については欧州から始まり、米国メイン州、ミネソタ州のパブコメ作成を検討しており、同様の法案への提案もしているので、電池工業会として業界横断の対応を積極的にすべきと考えています。皆様方のご協力をお願い致します。本日の各委員会から説明に対して審議ならびに発言を宜しくお願い致します。

2. 専務理事挨拶

一次電池部会を参照願います。

3. 各委員会報告

各委員会より、2023年度事業報告、2024年度事業計画が報告された。

- ◆技術委員会
- ◆国際電池規格委員会
- ◆国際電池輸送委員会
- ◆普及促進委員会
- ◆PL委員会
- ◆再資源化委員会
- ◆広報総合委員会
- ◆国際環境規制総合委員会

4. JBRC 報告

I. 会員状況報告

II. 回収状況（2023年度3Q実績）報告

III. 具体的施策実施内容

- ①安全とコンプライアンスの徹底
- ②再資源化活動の深耕と強化
- ③持続可能な経営体制作り

IV. 2024年1月回収実績

5. その他審議事項

蓄電池の普及促進に関する提言書が承認された。

6. 事務局報告

2024年度二次電池第2部会開催日程

・6/7(金)、9/13(月)、12/6(金)、2/7(金)

以上

2024年2月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
議特 、別 他会	14日(水)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	福岡県会場の修了考査審議
	14日(水)	蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備 資格登録の審査、型式認定の審査
	16日(金)	広報総合委員会	2024年度 事業計画ならびに活動計画審議
二 次 電 池 部 会	2日(金)	自動車鉛分科会	SBA G 0101 始動用鉛蓄電池の安全・取扱い指針の審議
	9日(金)	充電器分科会	JIS C 4402「浮動充電用サイリスタ整流装置」の改正審議他
	15日(木)	二次電池部会	23年度事業実績報告、24年度事業計画審議
	19日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域234号変更申請および新規広域認定取得打ち合わせ
	20日(火)	据置鉛分科会	JIS F 8101 船用鉛蓄電池の改正審議
	22日(木)	自動車技術サービス分科会	TS-004改定審議他
	28日(水)	用語分科会	SBA S 0405「二次電池用語」改正審議
	28日(水)	小形鉛分科会	SBA G 0206キュービクル—熱設計に関する技術指針 改正審議
二 次 電 池 第 2 部 会	7日(水)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格検討
	9日(金)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	9日(金)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	13日(火)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応
	14日(水)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	21日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	21日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	22日(木)	ニカドニッケル水素分科会	ニカド・ニッケル水素電池 性能規格の改訂審議
	26日(月)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 ED2審議、外部からのJIS C62133-2の質問審議
	26日(月)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	28日(水)	国際電池規格委員会	IEC規格 ANSI規格等の審議対応
	28日(水)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	28日(水)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定
一 次 電 池 部 会	1日(木)	規格委員会	IEC60086-1,2,5審議、技術委員会報告内容共有
	2日(金)	技術委員会	国際幹事、JIS改正、IEC審議状況、コイン形リチウム二次関連報告 2024年度技術委員会活動計画報告
	14日(水)	一次電池部会	各委員会からの活動報告、24年度事業計画審議

12月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2023年12月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池（ニッケル・水素電池）」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	359,036	131,925	88%	102%	4,054,814	1,535,413	91%	124%
一次電池計	250,202	11,192	100%	102%	2,553,604	109,516	90%	102%
酸化銀電池	55,482	1,749	91%	116%	635,909	18,183	83%	104%
アルカリ乾電池計	123,914	5,364	97%	93%	1,157,765	47,362	93%	94%
単三	-	-	-	-	-	-	-	-
単四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウム電池	70,806	4,079	113%	112%	759,930	43,971	94%	110%
二次電池計	108,834	120,733	70%	102%	1,501,210	1,425,897	91%	126%
鉛電池計	2,934	21,791	101%	105%	29,304	215,724	101%	109%
自動車用	2,366	15,208	103%	105%	22,670	142,610	103%	109%
その他の鉛蓄電池	568	6,583	95%	106%	6,634	73,114	97%	110%
アルカリ蓄電池計	31,010	28,205	82%	120%	408,808	313,550	94%	121%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のアルカリ蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン蓄電池計	74,890	70,737	65%	96%	1,063,098	896,623	89%	132%
車載用	54,457	58,333	60%	95%	851,573	775,813	95%	143%
その他	20,433	12,404	86%	99%	211,525	120,810	72%	90%

12月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2023年12月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸出）	184,162	71,519	83%	97%	2,117,670	725,602	83%	97%
一次電池計	94,992	3,997	85%	110%	1,060,804	37,672	81%	96%
マンガン	26	1	-	-	80	9	-	-
アルカリ	6,986	165	54%	66%	116,436	2,438	68%	76%
酸化銀	45,470	1,600	80%	116%	505,333	13,702	83%	106%
リチウム	42,510	2,231	103%	111%	438,555	21,206	82%	99%
空気亜鉛	0	0	-	-	400	9	-	-
その他の一次	0	0	0%	0%	0	308	20%	18%
二次電池計	89,170	67,522	81%	97%	1,056,866	687,930	85%	97%
鉛蓄電池	168	1,455	134%	140%	1,491	12,780	87%	96%
ニカド	124	48	67%	88%	2,590	890	79%	100%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	11,166	15,149	99%	118%	107,702	146,291	88%	113%
リチウムイオン	67,350	40,464	71%	95%	860,512	431,103	85%	104%
その他の二次	10,363	10,407	310%	78%	84,571	96,865	78%	63%
全電池合計（輸入）	138,365	58,306	99%	168%	1,492,164	570,156	87%	136%
一次電池計	130,406	2,353	100%	91%	1,401,952	28,009	87%	96%
マンガン	7,288	133	88%	94%	112,089	1,915	104%	119%
アルカリボタン	2,901	24	79%	66%	30,973	298	93%	95%
アルカリその他	106,924	1,577	102%	92%	1,085,773	16,782	85%	91%
酸化銀	89	4	65%	57%	2,008	84	93%	97%
リチウム	10,145	515	96%	89%	119,450	7,165	86%	101%
空気亜鉛	3,047	72	118%	107%	51,623	1,180	100%	98%
その他の一次	12	28	113%	110%	35	585	52%	124%
二次電池計	7,959	55,954	86%	174%	90,212	542,148	88%	139%
鉛蓄電池	843	5,446	108%	121%	9,257	55,476	97%	106%
ニカド	25	246	165%	120%	578	2,486	73%	120%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	2,126	468	74%	71%	21,716	5,197	82%	84%
リチウムイオン	4,950	44,475	90%	180%	58,232	409,976	89%	136%
その他の二次	15	5,319	33%	260%	430	69,014	84%	237%